

令和7年11月9日17時03分頃の三陸沖の地震について

令和7年11月9日17時03分頃に発生した三陸沖を震源とする地震について、地震や津波に関する概要や留意事項を別添のとおりお知らせいたします。

本件に関する問い合わせ先

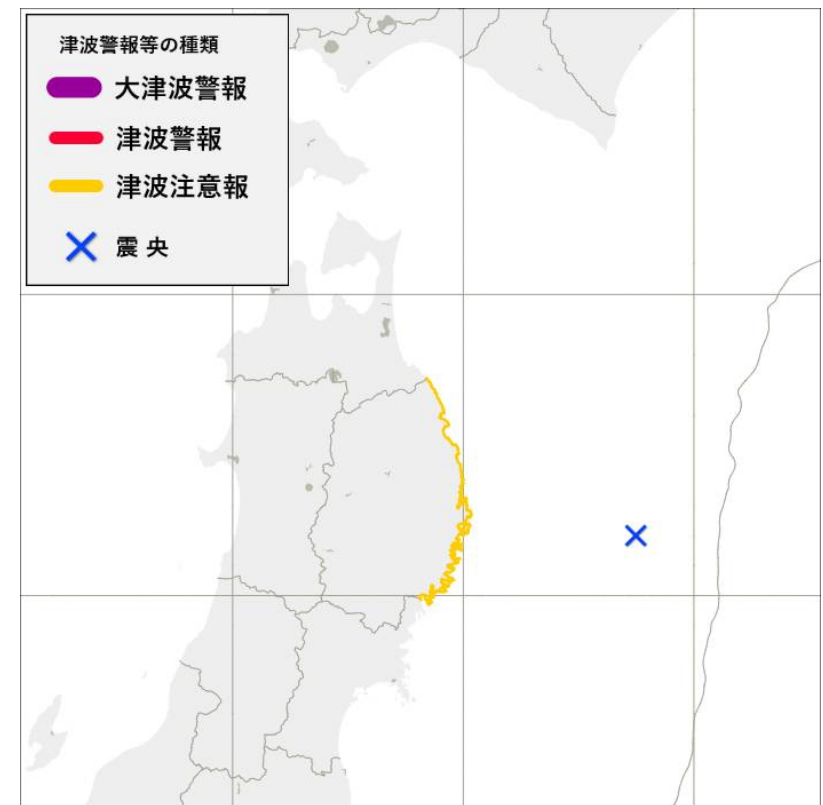
地震火山部 地震津波監視課
電話 03-3434-9041

津波注意報を発表

津波注意報 岩手県

津波を観測中！
海の中や海岸から離れて！

11月9日17時12分発表



最新の情報は、以下のページでご確認ください。

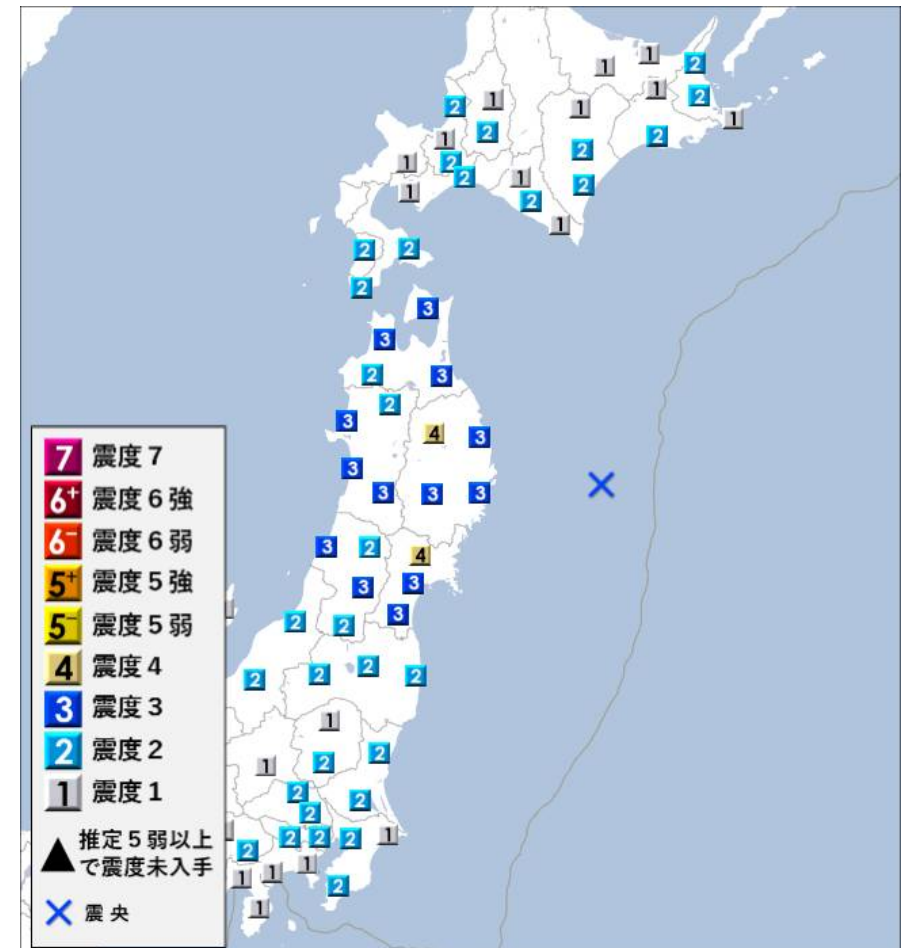
津波警報等の発表状況：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

震度4を観測

震度4 岩手県 宮城県

※1週間程度(特に今後2～3日の間)
最大震度4程度の地震に注意
過去に続発事例あり。
さらに強い揺れの地震発生のおそれも。

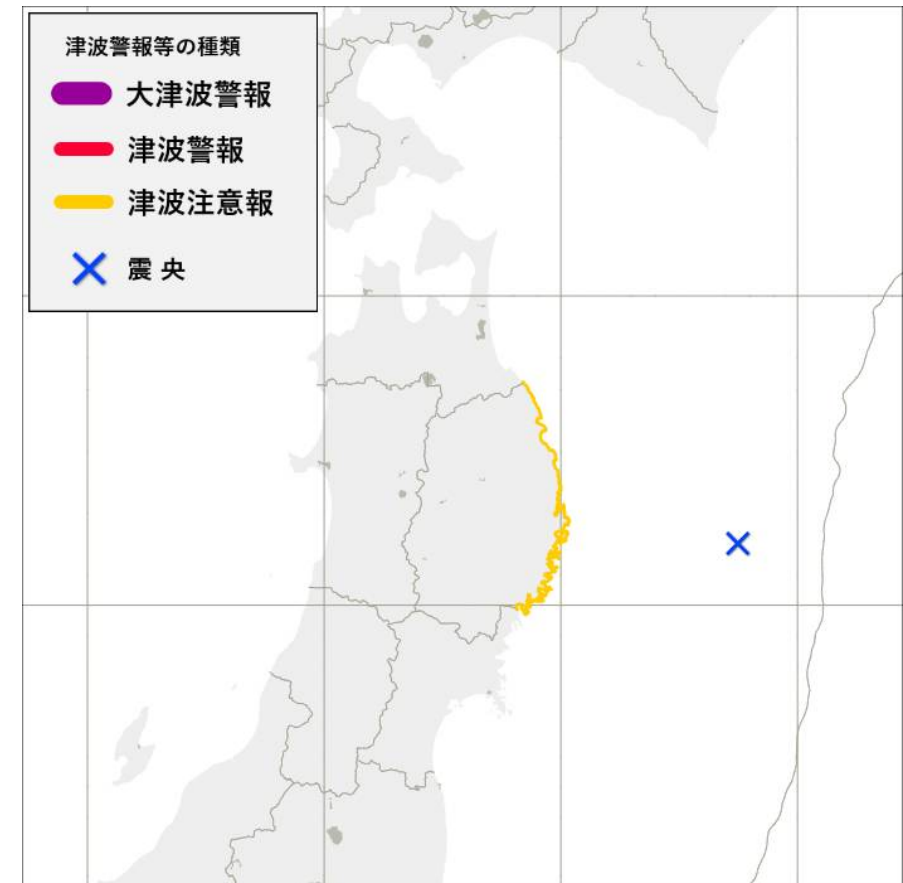
11月9日17時16分発表



津波警報等の発表状況

津波注意報
岩手県

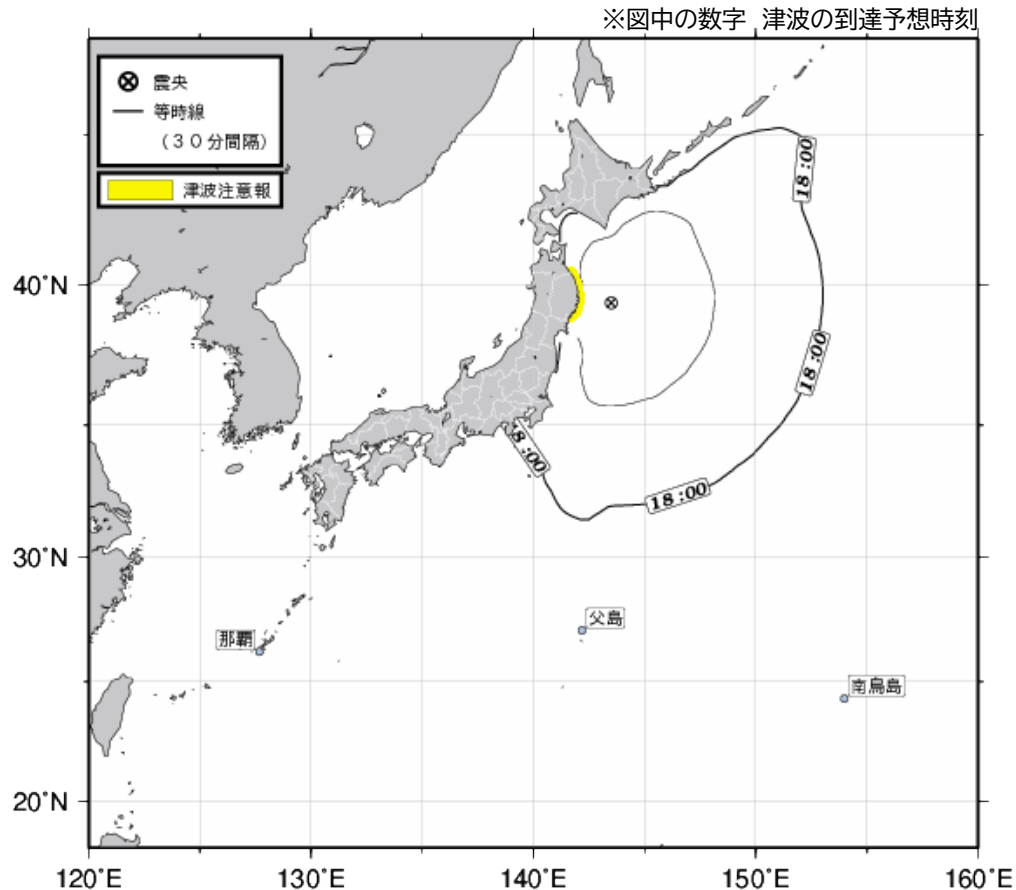
11月9日17時12分発表



最新の情報は、以下のページでご確認ください。

津波警報等の発表状況：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

津波第1波の到達予想時刻図



(津波注意報の発表地域)
海の中や海岸から離れて！

津波は長い時間繰り返し襲ってきます。
第1波より後に来る波が大きいこともあります。
津波警報等が解除されるまでは避難を！

(図の留意事項)

時間が経つにつれ津波が広がっていく様子を単純なモデルで計算し、津波警報等の発表地域への第1波の到達予想時刻の大まかな目安を示した図です。

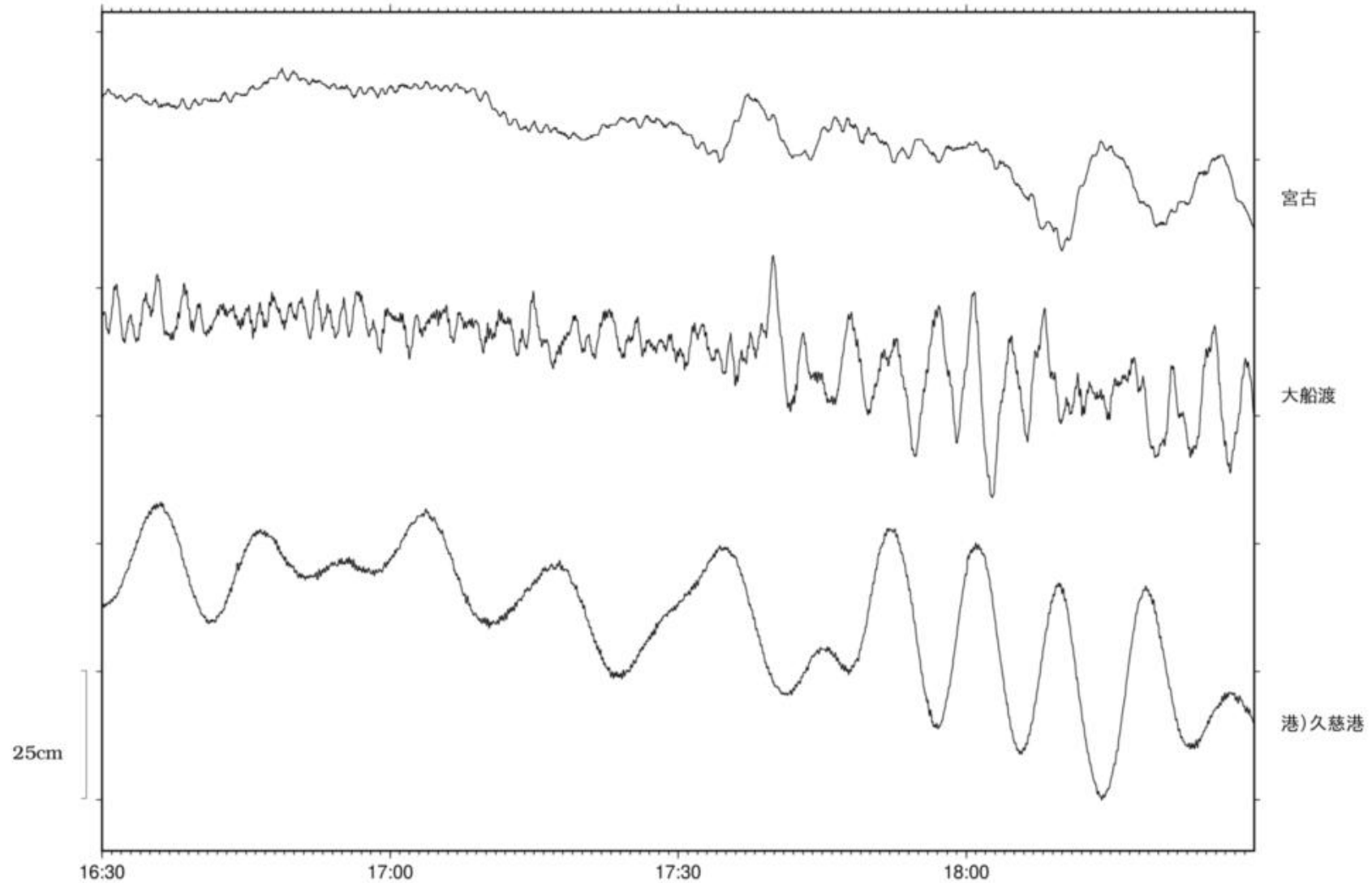
津波到達予想時刻に関する情報で示した時刻や、実際に津波が到達する時刻とは異なる場合があります。

予想時刻は、日本全国を対象に等値線を描画しているため、津波が到達すると予想されていない地域を含めて表示されています。

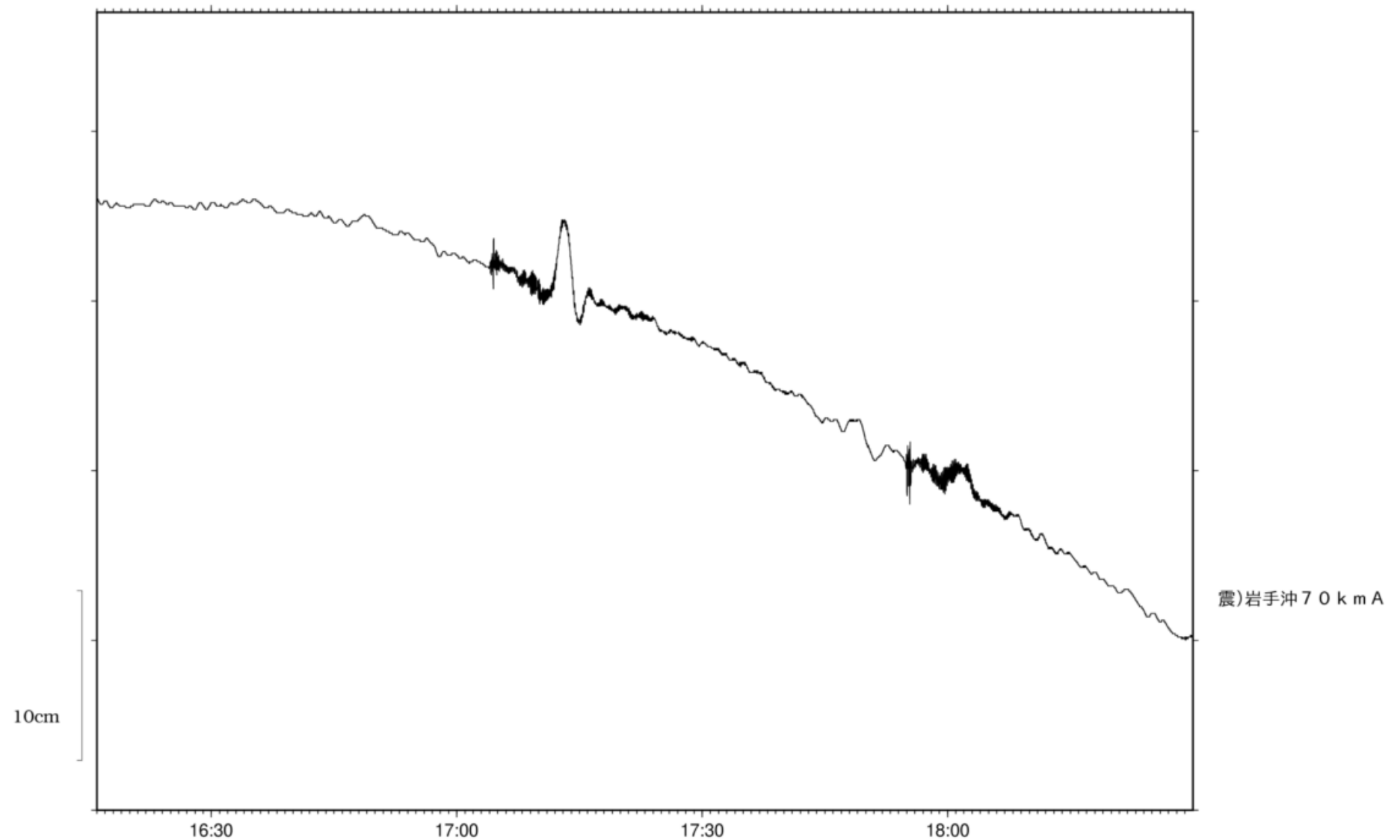
最新の情報は、以下のページでご確認ください。

津波の警報等の発表状況:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>

津波波形図



津波波形図



地震の概要

検知時刻 (最初に地震を検知した時刻)	11月9日17時03分
発生時刻 (地震が発生した時刻)	11月9日17時03分
マグニチュード	6.9(暫定値;速報値の6.7から更新)
発生場所	三陸沖 深さ 16km(暫定値;速報値 深さ約 10kmから更新)
発震機構	西北西―東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、プレート境界で発生した地震(速報)
震度	【最大震度4】岩手県の盛岡市(もりおかし)・矢巾町(やはばちょう)、宮城県の涌谷町(わくやちょう)の市町で震度4を観測したほか、北海道から中部地方にかけて震度3～1を観測
地震活動の状況 09日18時30分現在	今回の地震発生後、震度1以上を観測した地震が8回発生(震度3:4回 震度2:2回 震度1:2回)
長周期地震動の観測状況	青森県津軽北部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、宮城県北部、秋田県沿岸北部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、山形県庄内で長周期地震動階級1を観測

防災上の留意事項と今後の見通し

(防災上の留意事項)

津波が発生しており海の中や海岸付近は危険です。海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないようにしてください。

(今後の地震活動の見通し)

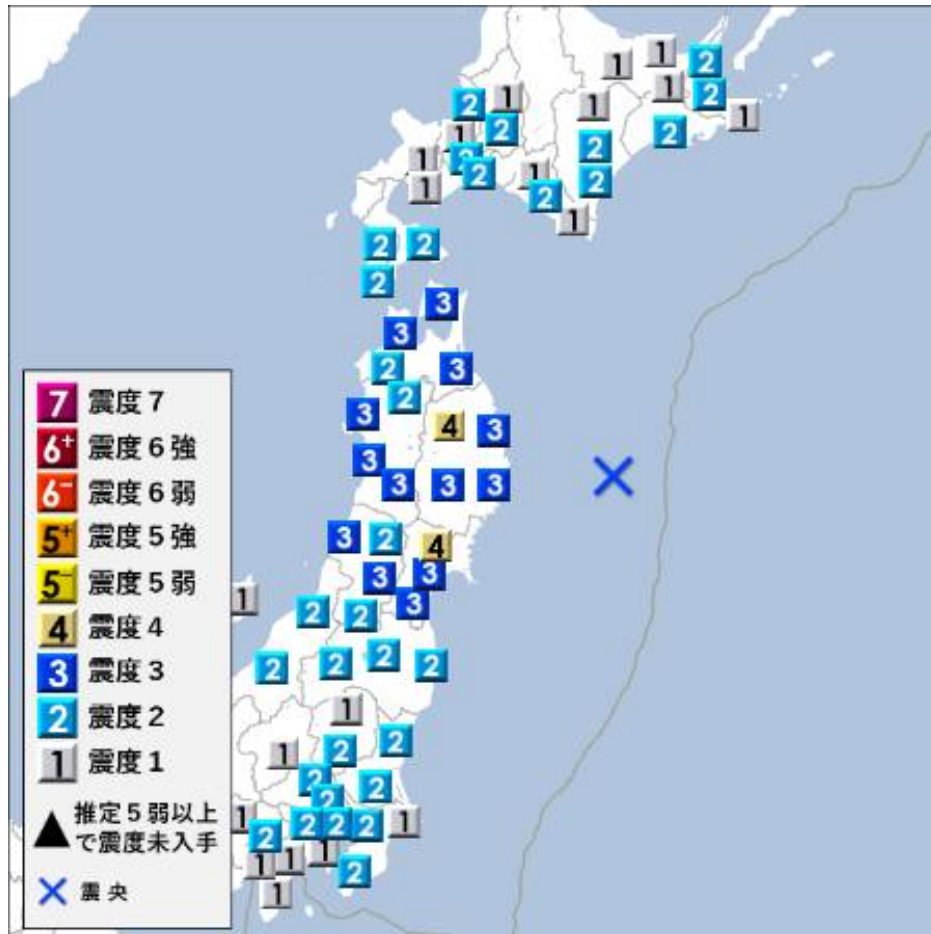
この地震が発生した地域では過去に、大地震発生から1週間程度の間に同程度の地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、同程度の地震に注意するとともに、さらに規模の大きな地震が発生する可能性もありますので注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

(その他)

北海道・三陸沖後発地震注意情報の発表対象の地震ではありません。

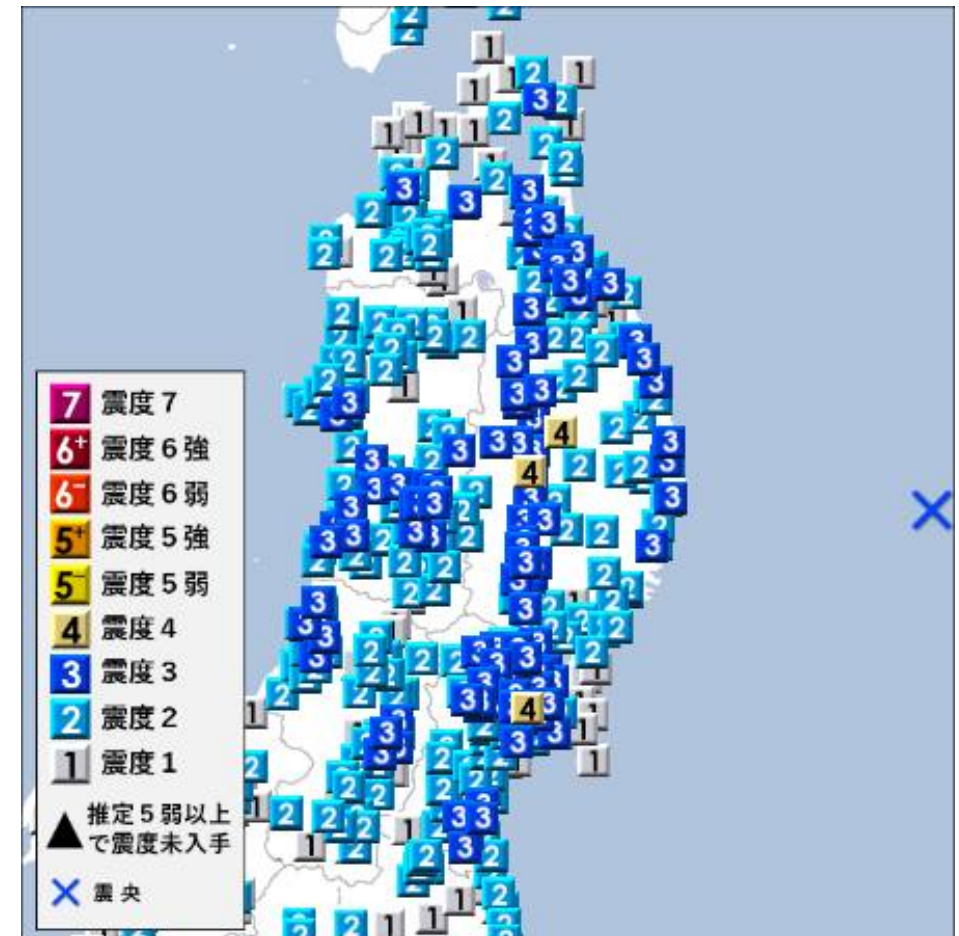
震度分布図

【各地域の震度】



11月9日17時16分発表

【各観測点の震度】



11月9日17時16分発表

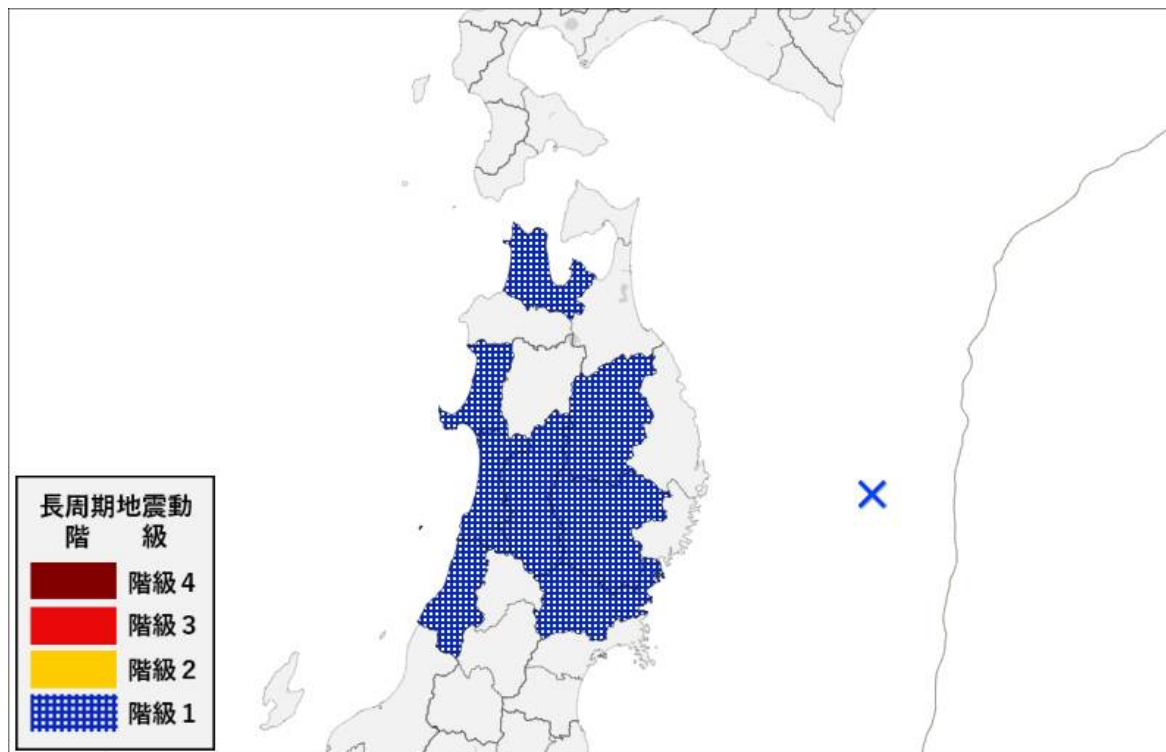
最新の情報は、以下のページでご確認ください。

地震情報:https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map

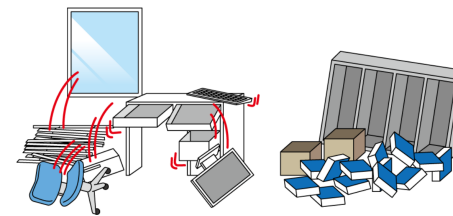
長周期地震動階級の観測状況

階級	地域名称				
階級1	青森県津軽北部	岩手県内陸北部	岩手県内陸南部	宮城県北部	秋田県沿岸北部
	秋田県沿岸南部	秋田県内陸南部	山形県庄内		

11月9日17時15分発表



階級4



立っていることができない

階級3



立っていることが困難

階級2



物につかまりたいと感じる

階級1



ほとんどの人が揺れを感じる

最新の情報は、以下のページでご確認ください。

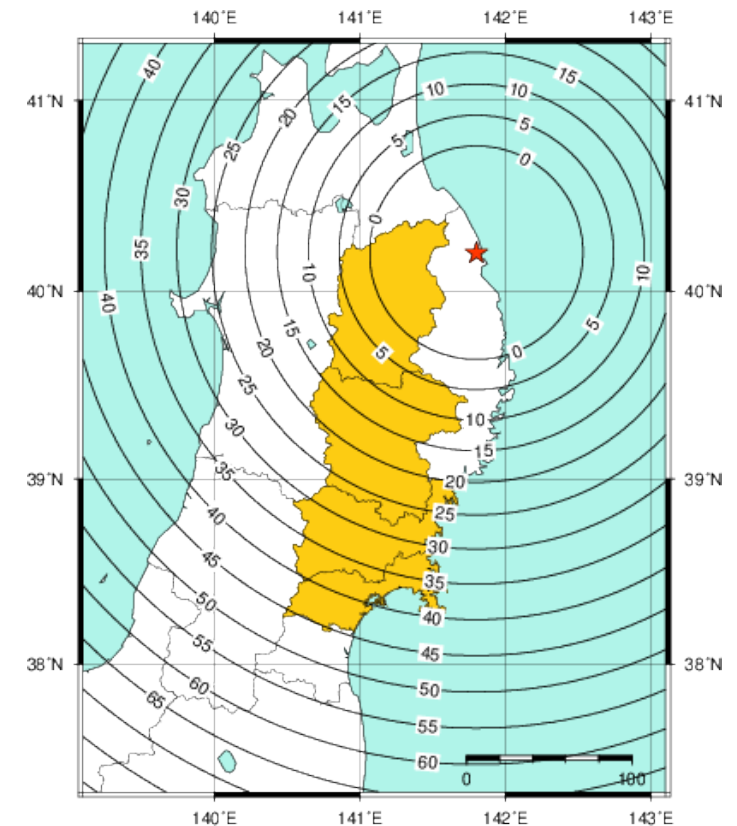
長周期地震動に関する観測情報:<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>

緊急地震速報の発表状況

緊急地震速報の詳細

提供時刻		経過 時間 (秒)	震源要素					予測した 震度と階級
地震波 検知時刻	17時04分46.6秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第5報	17時05分02.6秒	16.0	岩手県沿岸北部	40.2	141.8	10km	1.0	※3
※3	震度5弱程度以上	岩手県内陸北部						
	震度4程度以上	宮城県北部、宮城県中部、岩手県内陸南部						

警報第1報の対象地域及び主要動到達までの時間



緊急地震速報（警報）を発表した地域 ★ 震源

発表状況の詳細は、以下のページでご確認ください。

緊急地震速報(警報)の発表状況:https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html

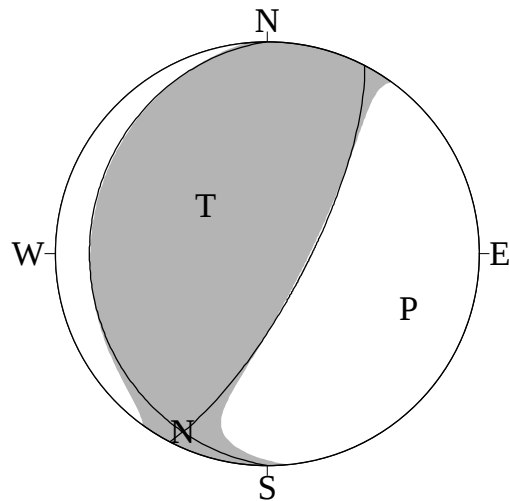
発震機構解

11091703

西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型

[CMT解(速報)]

Mw=6.7



下半球等積投影法で描画

P：圧力軸の方向

T：張力軸の方向

セントロイドの位置

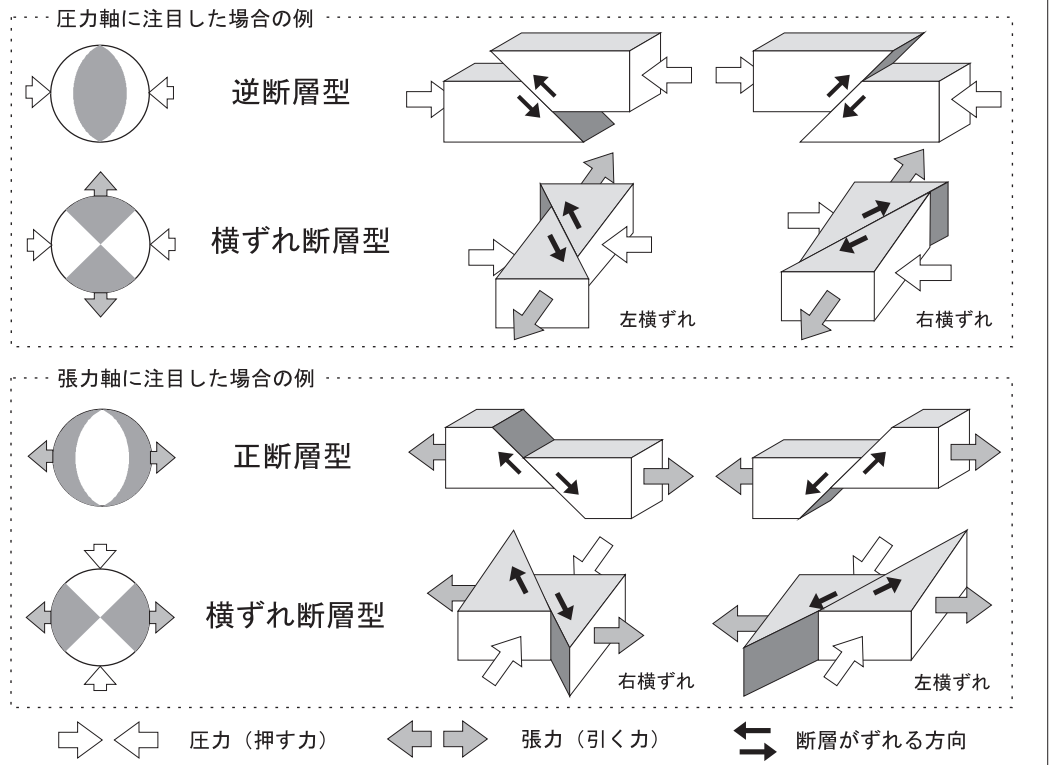
北緯 39度24分

東経 143度30分

深さ 約20km

セントロイドの位置とは、
地震の断層運動を1点で
代表させた場合の位置。

発震機構解 [CMT解] について



気象庁作成

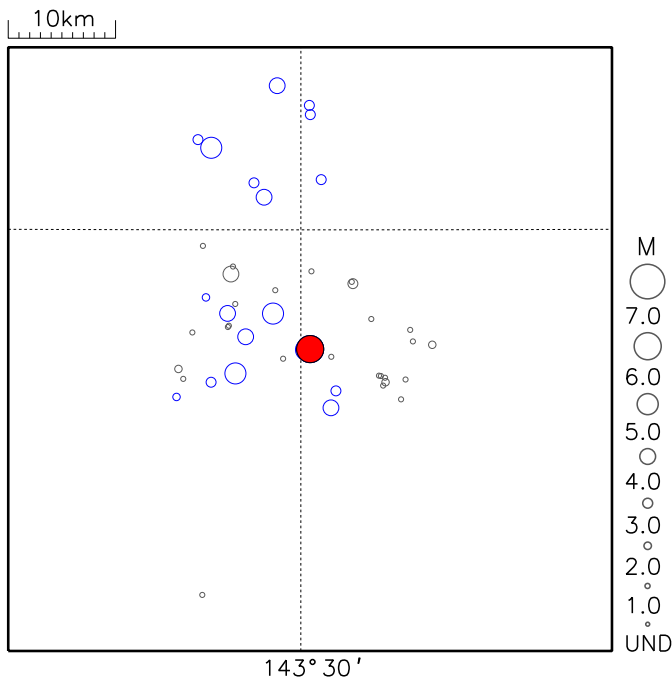
今回の地震活動

震央分布図（詳細図）

震央分布図（広域図）の四角形領域内の震央分布図

深さ0 -- 100km、 M 全て

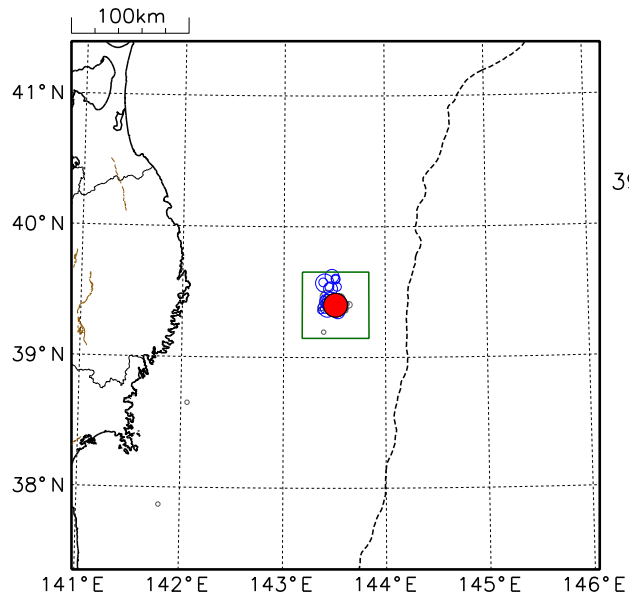
2025 11 09 15:00 -- 2025 11 09 17:50



震央分布図（広域図）

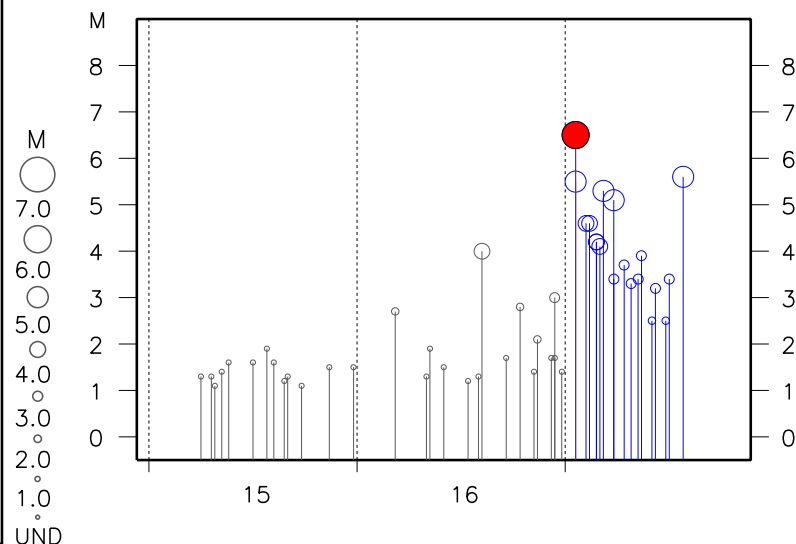
深さ0 -- 100km、 M 全て

2025 11 09 15:00 -- 2025 11 09 17:50



震央分布図（詳細図）の地震活動経過図

2025 11 09 15:00 -- 2025 11 09 17:50



(震源の色について)赤色：今回の地震 青色：今回の地震より後に発生した地震 灰色：今回の地震より前に発生した地震

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の点線は、海溝軸を示す。

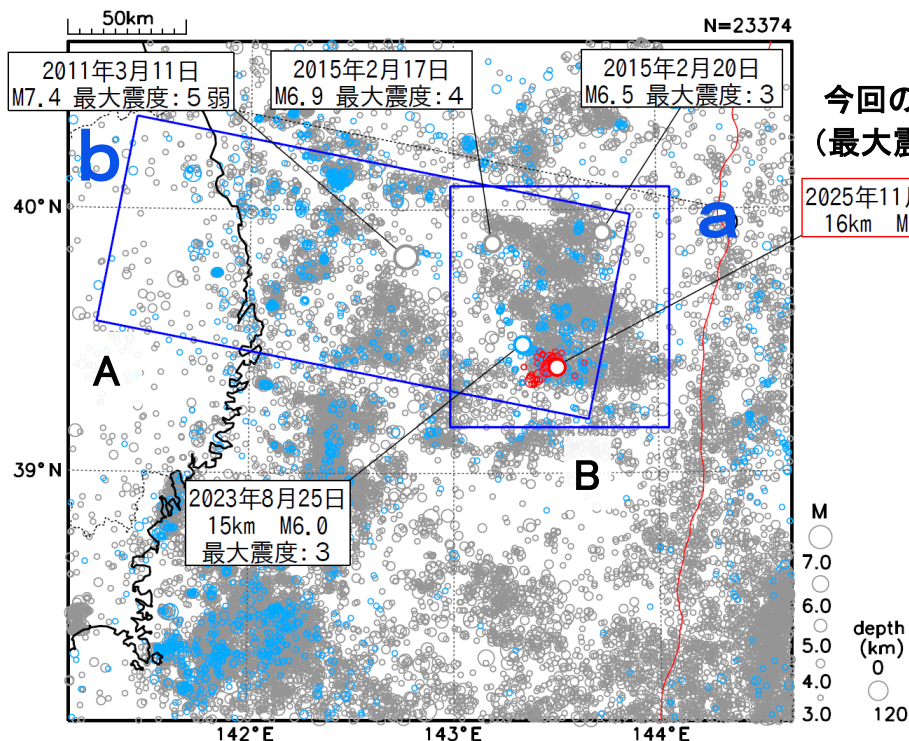
<資料の利用上の留意点>

- ・表示している震源は、速報値を含みます。
- ・速報値の震源には、発破等の地震以外のものや、誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

令和7年11月9日 三陸沖の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

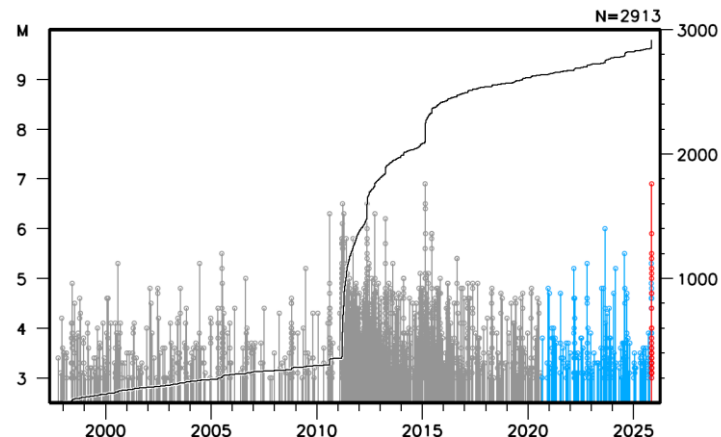
(1997年10月1日～2025年11月9日17時04分、
深さ0～120km、M3.0以上)



丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

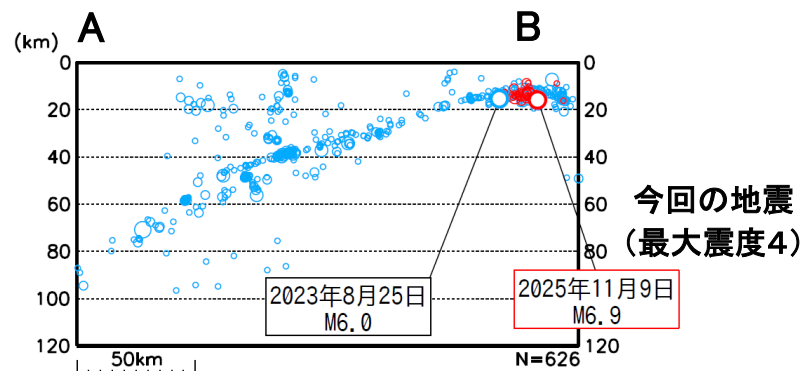
2020年9月1日以降の地震を水色で
2025年11月9日の地震を赤色で表示

領域a内の地震活動経過 および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

領域b内のA-B断面図 (2020年9月1日～2025年11月9日17時04分)



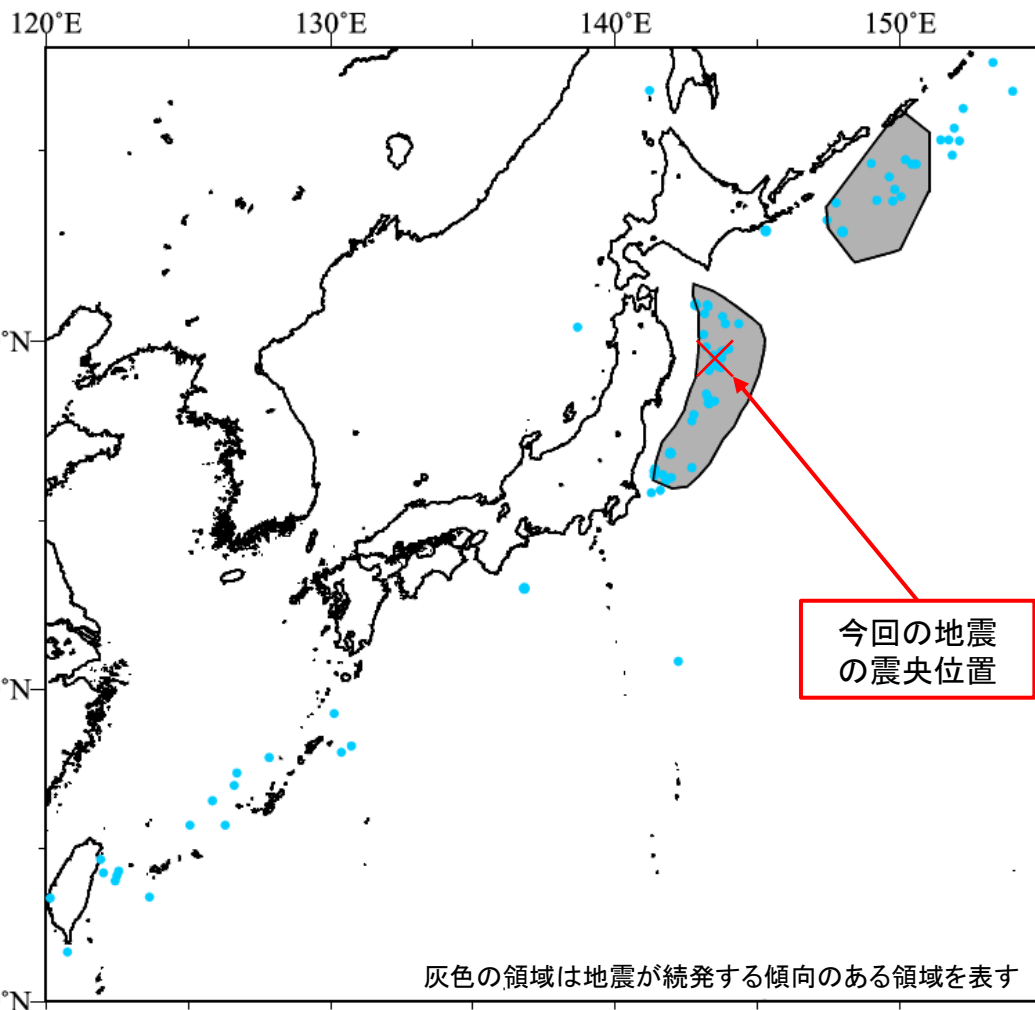
縦軸は深さを表し、丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

震源周辺における規模の近い地震の続発事例について

(参考資料)

大きな地震発生後に規模の近い地震が続発した過去の事例 (海域)

1923年～2016年6月、海域で発生した深さ0～80km、マグニチュード6.0以上、規模の差が0.5以内もしくは同規模以上の地震が発生した地震を●で表示



規模が近い地震が続発した過去の事例は、地震調査研究推進本部地震調査委員会「大地震後の地震活動の見通しに関する情報のあり方」報告書による。

■日本全国での過去の事例

海域で発生した大きな地震の場合、過去には規模が近い地震が続発した事例があります(左図の●印の地震)。

特に、左図の灰色の領域(海域の続発領域)内で大きな地震が発生した場合は、それ以外の海域で発生した場合に比べて、規模の近い地震や、より規模の大きな地震が続発しやすい傾向があります。

■今回の地震の周辺における過去の事例

今回の地震の周辺では、1992年に三陸沖で発生したM6.1の地震の2.3日後にはM5.8及び2つのM6.9の地震が、2.4日後にはM6.4の地震が発生した事例があります。

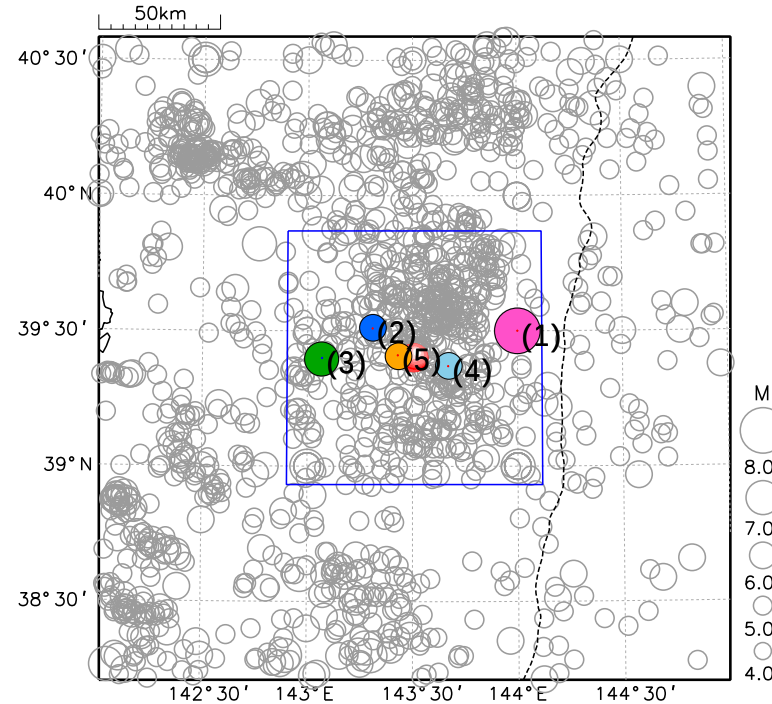
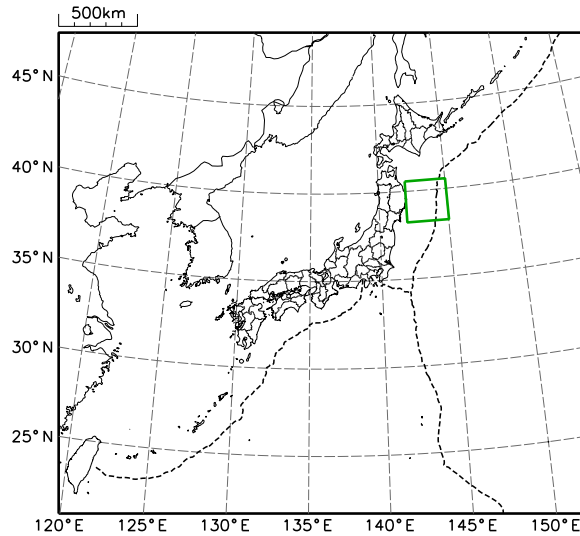
今回の地震周辺の過去の主な地震活動

震央分布図

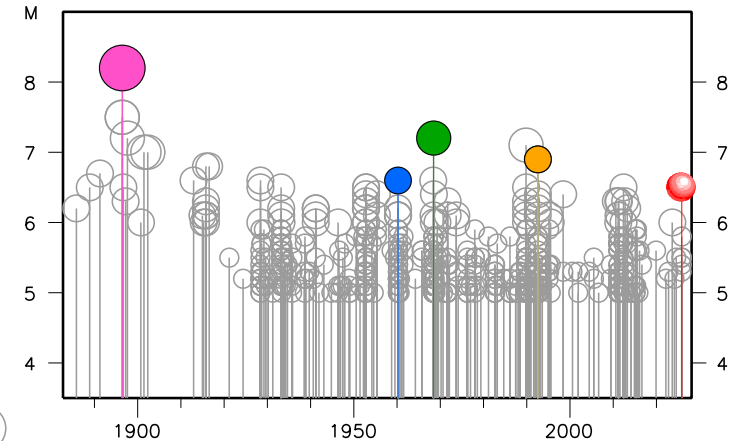
M 5.0 , 深さ : 0 ~ 150km

今回の地震を赤く表示

1885 01 01 00:00 -- 2025 11 09 17:08



震央分布図の青色矩形内のM-T図



過去の主な地震

主な地震のシンボルの色と番号の対応

桃：(1), 青：(2), 緑：(3), 水：(4), 黄：(5)

(1) 1896年06月15日 M:8.2 三陸沖
明治三陸地震

(2) 1960年03月23日 M:6.6 三陸沖

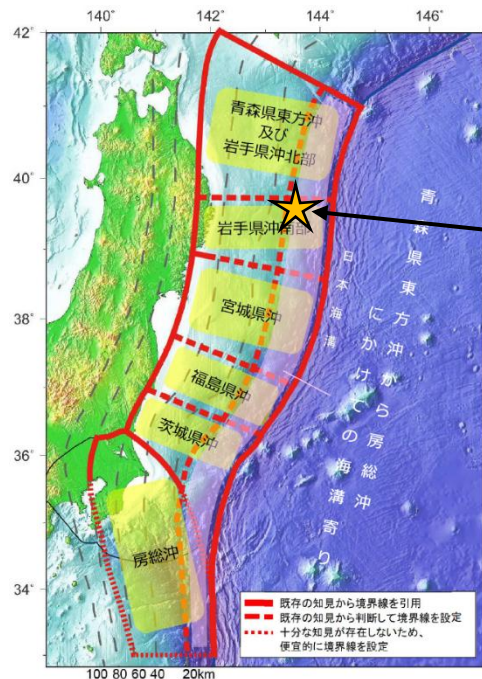
(3) 1968年06月12日 M:7.2 三陸沖

(4) 1992年07月18日 M:6.9 三陸沖

(5) 1992年07月18日 M:6.9 三陸沖

- ・震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。
- ・震央分布図中の黒色の太破線は、海溝軸を示す。
- ・1885年から1918年の地震の震源要素は、宇津（1982,1985）及び茅野・宇津（2001）による。
- <地震の名称について>
- ・気象庁が定めた地震の名称を「」で示す。
- ・上記以外で、被害を伴い、広く社会的に地震の名称として知られているものについて、名称（「」を付加しない）を併記している。
- ・名称は、「日本の地震活動（第2版）」（地震調査研究推進本部）による。
- ・地震の名称の後ろの[]は、この規模の順に近接して発生した主な地震が他にあることを示す。
- ・名称は、最大規模の地震にのみ付加しており、[]内に記載した他の地震が異なる番号で記載される場合がある。
- <資料の利用上の注意点>
- ・今回の地震は、速報値を表示しており、精査後に修正する場合がある。
- ・過去の地震活動は、M5.0以上の地震、今回の地震は、M4.0以上の地震を表示している。
- ・過去の地震活動は、地域、時期に依らず、全てM5.0以上の地震を表示している。地域や時期により検知能力（ ）が異なる場合がある。
- ・検知能力：特定の地域、時期において、あるM（規模）以上の地震は、概ね全て検知できていると考えられるとする。
- ・この場合、そのMが小さいほど検知能力が高いと言う。
- ・一般的に、同時期であれば、海域より陸域の方が検知能力は高く、同一地域であれば、時期が新しいほど検知能力は高い。

●想定される地震の震源域(注1)



今回の地震の
震央位置

周辺で想定されている海溝型
地震

○今回の地震の震源周辺では、
日本海溝沿いで発生する大規模
地震が想定されています。

海域で発生した規模の大きな地震後に見られた地震活動の例

○過去には、2008年の茨城県沖の地震のように、大きな地震の発生後、より大きな地震が発生し、当初の活動域が広がった例もあります。しかし、2004年の釧路沖の地震のように、より大きな地震は発生せず、地震活動域が広がらなかった例もあります。

●海溝型地震の長期評価の概要(日本海溝沿い)(注1)

評価対象地震	発生領域	想定される規模	ランク(注2)	平均発生 間隔
超巨大地震(東北地方太平洋沖型)	岩手県沖南部 ～茨城県沖	M9.0程度	I ランク	550～600年 程度
プレート間巨大地震	青森県東方沖及び 岩手県沖北部	M7.9程度	Ⅲランク	97.0年
	宮城県沖	M7.9程度	Ⅱランク	109.0年
ひとまわり小さいプ レート間地震	青森県東方沖及び 岩手県沖北部	M7.0～7.5 程度	Ⅲランク	8.8年
	岩手県沖南部	M7.0～7.5 程度	Ⅲランク	88.2年
	宮城県沖	M7.0～7.5 程度	Ⅲランク	12.6～14.7年
	宮城県沖の陸寄りの地震 (宮城県沖地震)	M7.4前後	Ⅲランク	38.0年
	福島県沖	M7.0～7.5 程度	Ⅲランク	44.1年
	茨城県沖	M7.0～7.5 程度	Ⅲランク	17.6年
海溝寄りのプレート 間地震(津波地震 等)	青森県東方沖から房総沖 にかけての海溝寄り	Mt8.6～9.0(注3)	Ⅲランク	102.8年
沈み込んだプレート 内の地震	青森県東方沖及び岩手 県沖北部～茨城県沖	M7.0～7.5 程度	Ⅲランク	22.0～29.4年
海溝軸外側の地震	日本海溝の海溝軸外側	M8.2前後	Ⅱランク	411.2年

(注1) 2019年2月26日公表の「日本海溝沿いの地震活動の長期評価」より引用。

(注2) 海溝型地震における今後30年以内の地震発生確率が26%以上を「Ⅲランク」、3%～26%未満を「Ⅱランク」、3%未満を「Ⅰランク」、不明(すぐに地震が起きることを否定できない)を「Xランク」と表記しています。ランクに「*」を付記している場合は、地震後経過率が0.7以上を表しています。

(注3) Mtは津波の高さから求める地震のマグニチュードです。

※本資料は以下を基に作成しました。

「活断層及び海溝型地震の長期評価結果一覧」(地震調査研究推進本部) <https://www.jishin.go.jp/main/choukihyoka/ichiran.pdf>

「日本海溝沿いの地震活動の長期評価」(地震調査研究推進本部) https://www.jishin.go.jp/main/chousa/kaikou_pdf/japan_trench.pdf

発表した情報などについて

- 津波警報等の発表状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tsunami>
- 津波の観測状況
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#elem=info&contents=tsunami>
- 潮位観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=tidelevel>
- 地震情報
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=earthquake_map
- 推計震度分布図
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=estimated_intensity_map
- 長周期地震動に関する観測情報
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm>
- 緊急地震速報の発表状況
https://www.data.jma.go.jp/eew/data/nc/pub_hist/index.html
- 発震機構解
<https://www.data.jma.go.jp/eew/data/mech/top.html>
- 震央分布
<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=hypo>
- 地震から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/jishin_bosai/index.html
- 津波から身を守るために
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jishin/tsunami_bosai/index.html
- 気象庁防災情報X(旧Twitter)
https://x.com/JMA_bousai

